



類證辨異全九集目錄

診脈榮衛之分別

定三部之位

七表之論

八裏之論

九道之論

七種之死脈

四時之平脈

四時之虛脈

四時之實脈

又虛實之一通

同等之脈

反常之脈

關格之脈

男女之異

主客伏匿辨

病內外之異

懷妊之脈例

新產之吉凶

小兒虎口之辨

原夢

百病在氣在血之分別

以潮作之時知五藏之病

諸病之惡候

醫者出入病家之法

四知之論

五藏之絕證

五實五虛之論

治諸病專可賴胃氣說

兩腎二補分別

倉公三死之說

五勞之大體

治未病之說

六失之論

養生論

○卷之二

日用藥味功能樞機之論

石藥一種

草藥五十四味

木藥二十四種

獸藥一種

調合之指南

六陳

八新

十八反

禁銅鐵之藥

禁火之藥味

每月之禁物

合食禁

不與姓者藥種

五藏補瀉并苦欲

五藏府之藥種

藥毒多少分別

五味之用

五味之過傷

食前食後服藥之分別

藥氣藥味之分別

藥劑七情之分別

七方之論

十二劑之論

生熟之用例

藥根三停之分別

湯散丸之論

權衡銖兩之論

半秤之圖

大分小分之異

外合之分別

尺寸之定

東把之分別

煎藥生熟之分別

服藥間之食法

○卷之三

中風之論治

傷寒之論治并同諸證

痢病之論治

泄瀉之論治

癰之論治

欬嗽之論治

宿食內傷治方

虛損論治

積聚之論治

消渴之論治

水腫之論治

脚氣之論治

嘔吐噎膈胃之論治

○卷之四

心痛之論治

脹滿之論治

黃疸之論治

頭痛之論治

腹痛之論治

霍亂之論治

疝氣之論治

淋病之論治

痰飲之論治

喘急之論治

秘結之論治

氣之論治

痺之論治

諸熱之論治

下血之論治

痿之論治

腰痛之論治

脇痛之論治

溺濁之論治

遺溺之論治

○卷之五

癆瘵之論治

遺精之論治

吐酸之論治

痔之論治

汗之論治

欬逆之論治

鼻衄之論治

吐血之論治

眩暈之論治

癰癩之論治

諸毒之論治

健忘之論治

陰癰之論治

脫肛之論治

腋臭之論治

眼目之論治

耳病之論治

鼻病之論治

唇口舌之論治

牙齒之論治

咽喉之論治

諸蟲之論治

癰瘡之論治

疥癩之論治

濕水之論治

癰死治

竹木之刺治

蛇傷之治

犬咬治

漆瘡治

鬱證之論治

婦人門之論

帶下論

調父母之論

姙者脉例

惡阻之論

姙者之浮腫

姙者傷寒

滑胎之法

月空方位之例

臨產之調治

四產之論

胎衣不脫

產後浮腫

婦人之治方

崩漏之治

寡癰之治

癰瘡之治

惡阻之治

子煩之治

姙腫之治

難產治

血暈治

凍死治

骨鯁治

自縊治

馬嚼治

湯火之治

暴症治

中惡論治

調經論

求嗣之論

姙者謹保

察胎之法論

胎動之論

姙者下血

縮胎之治法

十二神吉凶方位

推婦人行年之法

難產吉凶

新產之脉

產後之謗妄

調經治

帶下之治

雜證之治

陰門諸證之治

胎動之治

胎死之治

滑胎之治例

胎衣不下之治

產後中風治

惡露不絕治

產後腹痛治

產後痢病治

下乳汁之方

小兒門之論

面證五藏之辨

生時之調法

乳母之謹

壽夭之相

痘疹之辨

發搐

傷風

吐瀉

渴治

惡露不下治

產後腫脹之治

產後遺尿治

五藏虛實之病證

眼色之分別

臍風

變蒸之論

雜說

諸疳

腹脹之因

驚風

傷寒與痘疹之辨

欬嗽

乳食之養時

口瘡

雜證

小兒之治方

諸疳治

脹治

風寒之治

濕痢之治

渴之治

雜方

○卷之七

灸治之樞要

灸時可謹保之法

定髮際之法

淋洗灸瘡之法

四季之人神

可欠

不治證

痘疹治

蟲治

驚治

吐瀉

欬嗽治

癰積之治

灸穴尺寸定法

灸火之吉凶

令發灸瘡之法

每月禁灸之日

灸火之吉凶

正面之灸穴三十名

背後傍側之灸穴三十名

小兒之灸穴二十名

膏肓俞

患門穴四花穴

運氣之徑捷

五行之論

十干之論

十二支之論

六化之論

四時氣候之論

變氣之論

生成數之論

五音建運論

天地六氣之論

主氣之論

客氣之論

天符之論

歲會之論

同天符同歲會論

南政北政之論

太少氣運相臨之論

勝復之論

紀運之論

六病論

治法之論

五行不及之時勝者來乘之論

六十年紀運之圖

考十干而知其運之圖

考十二支知當年司天之圖

識初氣交刻之論

金匱集目錄畢

類證辨異全九集卷之一

診脉榮衛之分別

夫脉ノ一字ヲチスチヨム其血スチヲカヨフ
物ハ只氣ト血トノ二也サリナガラ。氣ハ
血スチノ外ヲウカシテカロク廻血ハスチ
ノソコニヲトレツイテチガル也其氣ヲ陽
トナレテキノミチト名ヅク衛コレ也其血
ハ陰トナノチノミチト名ヅク榮是也氣
ハ外ヲ廻人ヲアタメスモル血ハチスチノ中
ヲナカレテ人ヲウルホレハチヤカニスル物ナ
リ此氣血ハ十六丈二尺ノ脉道ヲ晝夜
百刻ノ間ニ五十ヘシメタル也サレバ診ノ一
字ヲ取ニロムトヨム候ノ字ヲウカカウ
トヨムナリ故ニ人ノミヤクヲ取テ診候ト
云也其ニハ氣ノ往來血ノ流通ノ太

ラハ小便ニウミ血出ルトシルベシ

三滑脉ハ指ニタツヌルニ三部ノ間ニ

タミヲウゴカスコトクイカニモナメラカ

ニシテトゴラフナルナリオモクヲセ

ハカクニテスミズシリツカズ血ヲヲ

クナカレソクイテ氣ハスナクヌグル

トシルベシ此脉ハ手足シタヒ小便

赤クシブル事ヲツカサドル

四實脉ハヲレテ尋ニモ絶セズカロク

アクトハアミリヤリ陽氣カクレテ

内ニアリ脾ノ藏虚ニ不食ニ手

足ツカレテモノヲキ事ヲツカサ

ドル

五弦脉ハ指ニテヲスニタラスアケレ

ハ餘リヤリ弓ノツルヲヲスニ似

リツ子ヨリハ少ヤキ脉也肝木ニ

過ニ脾胃ヲ尅レ勞風ニヨリチカ

ラフラトロハ手足ヒイラキ皮毛カレカ

レケタル事ヲツカサトル

六緊脉ハ指ニテ尋ニ三關通レ渡ルラ

セハアミリヤリ舉ハスニテハヤクカタ

チ決弦コトモカクタル風氣陽邪

余リオカレテ物ニクルヒネロキヲソ

レヤスキ事ヲツカサドル

七洪脉ハ指ハラニアタルコトイカニモ大

ニアグヒアマリヤリチキイタニ手足

ウカヒ熱シ大腸通セズ大便結シ口

ノウチカハキ身イタム事ヲツカサドル

八裏論

○微沉緩瀄遲伏濡弱ノハツラハ裏

陰脉ト名ツ

一微脉ハ往來イカニモカスカニアルガコ
トナキカコトニ陽氣オトロモ 羸ル
敗血ヤマス小腸虚シテ骨髓カレカワ
キ崩漏白帶ヲムカサレ脉ナリ
二沉脉ハ指ヲ尋ニ有ル様ニシテスグ
ハマツタナト臟腑ヒエニ焦ラズカリ
兩脇ノ間ニ氣フクテ手足時ニヒユル
也寸口ノ沉ハ胃ニ痰有 關部ノ沉
ハ氣ニチカク心中痛ハ尺中ノ沉ハ
腰足ヲモク小便ニヨリシズ

三緩脉ハ往來少ラシクユルヤカナル脉也
四動ノ平脉ヨリハラシク三動ノ遲脉
ヨリハ少ハヤト手足イキレモタヘイ
キツカイハヤニ腎間ニ氣アソテ目
鳴リ寸口ノ緩ハ背項ニイラキ關上ノ
緩ハ腹中ニ氣ムスホラツテヒカタク
尺中ノ緩ハ冷氣結シテ夢ニ鬼ニシ
タカウ

四瀉脉ハ指ヲ尋ニアルニ似テア
クハ余クナレイカニモウスカカロカ
ニテ竹ノカワラツツルニ似タリニフ
リコホツテナラカナラヌ脉也腎
ノ精汁ノキタル脉也身ヲウルホス
血カワキスチクナル脉ナリ故ニ男
ハ傷精婦人ハ敗血也懷妊ノ人ナラ
ハ胎中痛ハコトアラサ

五遲脉ハ指ヲオモクシテエタリ一息ノ
間ニ三動ハカリ來ルナリ往來キワ
メテラシク腎虚ニヤスカラス寸關尺

間ニ連脉アラス。三焦ノ間ノ寒冷ラ

ソキマヘレルヘシ

六伏脉ハ指ニテ尋ニアルニ候モ呼吸

定息マツタキコトナク。毎ヒ子シヨ旦ヤ

クイタツヌヒニ三關ヲハナレサルナリ。筋

ノ下ヲカクニユタリ。毒氣三關ニトキ

フナカリ。手足ヲモクヒユルナリ。寸脉ノ

伏スルハ胃中ノ聚物也。關脉ノ伏ハ

腸癖アツテ泄瀉スルナリ。尺脉ノ伏

ハ食物消セズホソクアタリニ疝瘕アリトシレルヘシ

七濡脉ハワレテ尋ニアル様ニシテ指

ヲ舉ヒナレキカヲヨク五心イキレ

熱ハナキザラメキ。下焦ノ元氣ヒ

キタリ。丹田カカワキ。骨蒸熱ガ熱

ヲツカサトル脉也

八弱脉ハ指ニテ尋ニシリワタニサワガ

コト。手ヲカロクシテタガリヲホエ。手

ヲヲモクシテハスナウチナレイカニモヤハ

ヤトメズ。産後ニ客風入來テ。オ

モテウソバレ。氣ヨハ半脉ナリ。寸ヲ弱

ハ陽氣虚シテ汗ヲツカライツ。關部

ノ弱ハ胃ノ氣不足。中焦ヨハ尺

中ノ弱ハ陰氣絶シテ骨肉シヒレヒ

イラキハタヘイキル脉也

九道論

○長短虚促結代牢動細ノ九ツヲ九

道ト名ツタ

一長脉ハ陽也。指ニテ尋ニ三關ノ間

竿ヲモツカチナノト。指ヲ舉レハ

餘リアリ又寸關尺ノ本位ニ過タル
モ長ト云一身ハスダ熱シキフシヤ
スカラス陽毒ノ藏中ニアル脉也三
焦ノ熱トシルヘレ汗ヲ發シヤスキコ
トラウヘレ

二短脉ハ陰ナリ指ニテタツタルニ寸關
尺ノ本位ニオミハサルヲ短脉トイフ也
手足ノロサム腹中ニ氣ヲ生シニ
焦ノ氣フサカリ陰中ニ伏陽アリ
臟中ニ宿食アル脉也三焦ヲ通
漏ニ必スヤスカルヘシ

三虛脉ハ陰也指ニテラレタツタルニモタ
ラズカロクアタルニモタラズイカニモウ
ツケタル脉也物ニラドロキ今チサウキ
タルコトヲツカサトルニ焦ヲ補益ニ
テスナワチ安カルヘシ

四促脉ハ陽ナリ指ニテ尋ニキウタテハ
ヤクメ關部ヨリス三出テ合ニ寸口
ニ居スル脉也ツチヨリモ事外ヤ
ク多一動ツチキ有血斑點ヲナス
ノ脉也此促脉ハ次第ニクワリ増
スレタスナワチ死ス次第ニシリソキ減ス
レハカヲフスイタル也

五結脉ハ陰也常ヨリモ少シララ來
リサル聚テカル時ニ動留メルナリ
血ナカレ通セス氣スガ故セズ積氣
脾ノ藏ノカタワラニ生シ手足痛ミ
モタユル事ヲツカサトル

六代脉ハ陰ナリ指ニテ尋ニ時々ニウ

コキウカシテツビイテラカト思へ
ハカエツテナレ脾氣風邪ニヤフツ
テ魂魄々々又云五臓ノ内イツ
ニテモ一藏絶レ極テ呼吸ヲツカサ
ラサルカ故ニ脉其絶スル藏ニイタラ
ズ代脉ヲアラワス也。絶セサル藏ノ
ミカハルク動スルナリ。故ニ或ハレハ
ク動レバラクトハルナリ
七牢脉ハ陰也指ニテ尋ニ則チナレ押
テニバ返テ有。來ラズユカサルガコト
ニ骨ノ間痛ニ氣イソガハク骨ノ
間ニ有
ハ動脉ハ陰也ラレテ尋ニ關部ニノミ
有テ尺寸ニナキガコトニ舉テウカ
カテナレ其關部ニアル脉モユカス

不來レテ其所ヲハナレ手足ツカレ
テヨワク血痢ヲワツライ女ハ血少レク
タリ。ワツラウ脉ナリ

九細脉ハ陰ナリ指ニテサグリ尋ニホソ
キイトスチノ指ニサワルニ似タリ。往
來イカニモホソレカチヤセカレケテ
足脛ニ毛髮カワキ骨髄ニヘ
痛。腎ノ精汁モルニトヲツカサ
ドル脉也

七種之死脉

彈石ノ脉指ニテ尋ニキツク物ヲヒツ
サテトクニ聚リ來テラシテモアゲ
テモラナレヤウナリ。珠ニ息數ナレ
是ハ腎絶ノ脉也。カナラズ死スル
ウタガイナシ

解索ノ脉ハ筋肉ノ上ニツテウゴキハ
ヤクノ散^サアツタルナク左右ノ
中ニバカリアラレテ指^{ユビ}ノ下ニ散^サ
アツマラス是ハ五藏ノ精髓^{セイネツ}皆^{みな}ツキ死
セトスル脉也

雀啄^{セツソク}ノ脉ハ指ノ下ニハク急^{キウ}ニツラナリ
來^キテ殊^タニ息數^{イクスウ}ナレ只スミノミシ
リソコトナレ俄^{ニガ}ニ絶^{セツ}ノ動^{ドウ}暫^{シバ}ク見^ミヘズヤ
ヤタレタ前^{マヘ}コトクニ又キタル也是
ハ尺四五日ノイキナリ脾^ヒノ臟^{ゾウ}ノ絶^{セツ}
脉ナリ

屋漏^{ニシド}ノ脉ハ指ニテラスニ極^{マダ}ニタラタニ
息^{イク}ノ間^{アイダ}ニ只一動^{イツドウ}ナト來^キリレバクト
トマル屋漏^{ニシド}ノレツクコトク或^{アル}ハ來^キリ
或^{アル}ハ留^ルテ連續^{レツギ}セハルニ似^ニタリ是ハ

胃絶^{イセツ}ノ穀氣^{コクキ}ノツキタル脉也立^{タチ}所^{トコロ}ニ
可^コ死^シ

蝦^カ遊^ユノ脉ハ皮毛^{ヒモウ}ノ間ニ浮^ウシテ毒^{ドク}ビラユル
能^{コト}尋^{ズル}ルウセテユキガタラシラスヨリ
アラワルハ一ハヲソレウセタル事^{コト}ハス
ミヤカ也カハツ水面^{スイメン}ニアソシテタチマ
チニ水^{ミヅ}ノソコニ入^イテレバラク有^{アル}テタチマ
マチ水面^{スイメン}ニホリアラハルニ似^ニタリ
是ハ脾胃^{ヒイ}絶^{セツ}シ神魂^{シニ}スデ再^{マタ}ル脉
也立^{タチ}所^{トコロ}ニ可^コ死^シ

魚翔^{イサショウ}ノ脉ハ皮肉^{ヒニク}ニ有^{アル}テ寸口^{スンコウ}ハサダメ
ツテウゴカス尺脉^{シツマク}計^{ハカ}リ靜^{シヅカ}ニソロク
トウコクタトハ魚^{イサ}ノ久^{キウ}シク水面^{スイメン}ニ
アソビカシラハウニカス尾^ビハカリ
ルクソロクトウゴクガタチゴトシ

是ハ腎絶ノ脉ナリ。此脉アラバ六時ノ中ニ死也。

釜沸ノ脉ハ皮肉ノ上ニツテユルノリ。是ハカチラズ死スル脉ナリ。

右已上七表八裏九道ノ大略也。及ビ七種ノ死脉ヲレリス。ナソノ詳カナル。ハ當流相傳ノ診候一紙ノ約術ニ有。

四時ノ平脉

春ハ微弦
夏ハ微洪
秋ハ微浮
冬ハ微沉

右コレ四時ノ平脉ナリ。但微ニ弦ナリト云フ。六アズ。イカニモ。ウツクニクスコレ弦ノカタチノ有ルカト云意ナリ。洪浮沉モ皆コレニナゾス。

四時ノ虚脉

春沉脉シアラワレ。夏弦脉シアラワレ。夏ノ土用ニ洪脉シアラワレ。秋緩脉シアラワレ。冬浮脉シアラワレ。素問ニ云。至而不到。是謂虚。コノ句ノ意ナリ。タトハ。早クシノ時節ハイタリタレ。當季ノ脉ハイタラスノスキサリ。冬季ノ脉ヲ。アラワスナリ。是ヲハ當季ノ主スル臟ト。其母ノ臟トヲ。カチテツキノス。

四時ノ實脉

春洪脉シアラワレ。夏緩脉シアラワレ。夏ノ土用ニ浮脉シアラワレ。秋沉脉シアラワレ。冬弦脉シアラワレ。素問ニ云。不到而至。是謂實。此句ノ意也。タト

ハ未タ其時節ヘイタラサレトモ。臍
腑實スル故ニハヤトリコレテ。來季ノ
脉ヲアラワス。是ラ當季ノ旺スル臟
ト其子ノ臟トヲ兼テ瀉スベシ

又虛實之一通

春脉弦ニツヨクカラアリ。夏脉洪ニ
ツヨクカラアリ。秋脉沉ニツヨクカラアリ
冬脉沉ニツヨクカラアリ。實ニシタ
右四時旺スルノ藏。太過シテ實ニシタ
ル脉ナリ

春ノ脉ウツケヤワカニシテ。曾テ弦ノ
カタチナレ。夏ノ脉ウツケカイナクシ。
曾テ洪ノ形チナク。秋ノ脉ウツケヨワ
クシ。浮ノ形チナク。冬ノ脉ウツケヨワ

右四時旺スルノ藏不及ニシテ。虛ニシテ脉也

同等ノ脉

寸關尺ノ三部。大小浮沉遲數同ク等
シキハ寒熱解セサルコト有トイヘ。陰
陽和平スルノ脉也。甚シト云。居。必可

變常之脉

人健ニシテ脉煩ヘシ。病人ノ脉平ニ長
高キ人ノ脉短カク。長キヒキ。人ノ脉
長ク。少年ノ脉。老人ゴトク。年々
タ人ノ脉壯ニ肥タ人ノ脉浮六ニ。
瘦タル人ノ脉沉實ナル

右各平常ノ脉ニシテ。必ス病アル脉
ナリ

關格ノ脉

ホロヨリ升テ魚際ニ溢ル、是ヲ外關
内格脉ト云、中ヨリ降ツテ尺澤
ニホル、是内關外格ノ脉ト云ナリ。
右此關格ハ陰陽偏勝ノ脉也、譬
陰ノ太過ノ陽ノ不及ナル時ハ魚際
ニ溢ルナリ、陽ノ太過ノ陰ノ不及ナ
ル時ハ尺外ニホルナリ、急疾太
病ニ此脉ヲ得タラハ必危シ

男女之異

男ハ寅ニ生シ陽ナリ、陽ハ火ニツツテ
炎上ス、故ニ寸脉ツ子ニサカシメ、尺
脉ハヨロシ

女ハ申ニ生シ陰ナリ、陰ハ水ニツツテ
下流ス、故ニ尺脉ツ子ニサカシメ、寸

脉ヨロシ

右是男ノ女ノツ子ナリ、タトハ陽ノ
陰ノ女ノ脉ヲ得タルコレ不及ナリ、陰ノ
女陽ノ男ノ脉ヲ得タルコレ太過也

又男ハ右腎ヲ命門トシ、女ハ左腎ヲ
命門トス、故居士カ云男ハ陽ナリ、故
ニ陰ヲ得テ生ズ、右腎ヨリ初ル是イ
ノチ、初ル門ナリ、女ハ陰ナリ、故陽
ヲ得テ生ズ、左腎ヨリハジミルコレ
チ門ナリ、男女トモニヨリ生レハレ
ルニヨツテ命門トイフナリ

主客伏匿之辨

寸口ニ沉瀽微短ノ陰脉アラフテ寸動
二十動ノ間ニモシ浮洪ノ陽脉ニ動ニ
動ナド交リ見ルハ客陰邪太過
凡故ニ主脉カレテ時々見レテ寸動

二十動ノ中ニモレ沉微陰脈一動ニ
動ナド交リ見ルハ客陽邪太過ナ
ルハ故ニ主脈カクレテ時々見ルナリ
寸口ニ常ゴトク陽脈見レテ時々一
二動陰脈ノ交リ出ルハ本陽イマダ
虚セザル故ニ邪陰ノ来ルトイヘトモカ
クレタズム也又中ニ常ゴトク陰脈
見レテ時々二動陽脈ノ交リ出ル
ハ本陰未虚セザル故ニ邪陽降ルト
イヘル陰々ズムナリ

右療治ニ事イハ事也客邪甚ハタ
レウノ主脈カクル時々主氣ヲ補フ
邪氣ヲ瀉スベシ主脈イマダ虚セズ客
邪ヒツカニカシテ居ル時ハ客邪ヲ瀉
スルナリ少氣ヲ補フベシ又左右

ノ三部トモニ二向ニ脈ヲタサルヲ雙
伏トイリ一手三部トモニウタタルヲ單
伏ト云ナリ又寸口ニ三見ニ二向ニ
尺中ニ見レサルハ必ズ吐逆ノ氣アリ吐
逆ノ氣ナクハ死スル元氣絶レタル故
也尺中ニ三見ニ脈見ハレテ二寸口
ニ見レサルハカノ三ツルカラス元氣タ
ダレク有故也

病ノ内外ノ異

脈浮大ナル者ハ其病外ニ有沉細ナル者
ハ其病内ニ有カクゾトク陰陽ニテ内
外ノ別ナリ其上ニテ遲數ヲ分別レ
テ寒熱ノ病トハタムヘシ
懷妊ノ脈例

脈三部ニアラワレ動シテ產門デイルナ

父之平心胎之九脉ナリ尺外ヲ産門ト

イフ新
尺脉細滑ニシテ絶セザル胎之九脉

左右ノ關ニ滑脉アリス懷妊ト知ヘシ滑ハ

多血ノ脉ナリ故ニハフスリ
陽中ニ陰脉アラハルハ女子ナレ陰中

二陽脉エラハルハ由カチナルヘレ
新産脉ノ舌上内

既ニ産後脉緩滑ハ吉シ沈重ナルモヨ

シ沈細ニシテホ子ニツクハ吉ナリ
既ニ産ノ後脉緩實大弦緊或ハ取索ハ

召レ或ハ寸口ノ脉滑緊ハ丁レキトリ
小兒虎口ノ辨

一歳ヨリ三歳ニテ虎口ノ紋ヲ見ベシ虎口



黄色ナル筋ハ平和ノ驗也

黒色ナルハ危シ急也
青紅紫ノ三色ハ病有ノ驗也

風關計ニ見ルハ治シ易シ
氣關ニイタルハ病深シ

命關ニイタルハ病深シ
スルナリ

青筋ハ胎氣ヲ受ル事不全驚キビク
メクハ強ク青筋ノ安カニ薄ク青
ハ腹痛ノ裏青カルベシ
紅筋ハ驚キ病脾ノ藏ニト知レ深ク
クレナイ方ハ驚キ熱ノスル薄ク紅
ナハ痢ノタミ不食レテ吐瀉ナルハ
紫ナル肋ハ驚熱知レク紫ナルハ
物ニ驚キハナニヨイナクベシムラ
サキナルハ腹底ヲ痛ニ吐瀉有ベシ

原夢

怒ヲ夢見ハ肝ノ盛實也○喜ヲ
夢見ハ心ノ盛實也○樂ヲ夢見ハ
脾ノ盛實也○ナキ悲ヲ夢見ハ
肺ノ盛實也○恐ルヲ夢見ハ
腎ノ盛實也○落ト夢見ハ上部ノ

虚ナリ○飛ト夢見ハ下部ノ虚ナリ
火ヲ夢ミハ陽ノ太過也○水ヲ夢見
ハ陰ノ太過也○人トアライコロシ
殺レソナイノヲナルト夢見ハ陰陽
トモニ虚スレハナリ○人ノヲホクアツメルコ
トヲ夢ミハ腹中ニ蛆蟲多キ故也
人ト行詭ト夢ミハ腹中ニ長蟲多
キニ依也

右是其人ノ夢ヲモツテ藏府ノ虚
實ヲ知レタトハ飽滿ノイナタレ夜
ハ夢ニ人ニ物ヲ與ヘ飢テイナタレ夜ハ
人ノ物ヲトルト夢見ルナリ是ヲ證據也
百病氣ニアリ血ニアルノ分別
醫學發明ニ云夫百病ニハ甚レクヨル
ハレガナハ是陽ノ有餘ナリ即氣

病デ血ハヤミサルナリ

百病ヨルハ甚クヒル静ナルハ是陰ノ有

餘ナリ即血病デ氣ハヤミサルナリ

百病畫ハ静ナルハ是陰ノ有餘也即血

病デ氣ハヤミサルナリ

百病畫ハ發熱レ夜醒ルハ是陽氣自

ラ陽分ニ旺スル病也

百病夜ハリロサムテヒルハコロヨキ

ハ是陰血ミカカラ陰分ニ旺スルノ

病ナリ

百病畫ハサメシツカニ夜中ニ發熱煩

躁スルハ是ハ陽氣タツテ陰中ニラ

チイル各ツケテ熱入血室トイフ

百病ヨルコロヨクテヒルハ甚クハコロサキ

ハ是陰氣ホリ益テ陽ヲチカスナリ

百病ヨルヒルト五ニ發熱煩躁スルハ是重

陽ニレテ陰氣ナレスニヤカニ其陽ヲ

瀉シ急ニ其陰ヲ補ヘ

百病畫夜トモニゾクサキハ是重陰ニ

ノ陽ナレスニヤカニ其陰ヲ瀉シ急ニ

其陽ヲオキソベシ

右諸病ヲ治スルニ脉ヲワキテ病ヲ

アキラメナラ其上ニ此血氣陰陽ノ分

別ヲ詳ニ述ハ治セスト云テナカラシ

潮作ノ時ニテ五藏ノ病ヲ知ヘシ

藏氣法時論ニ云肝病ハ平且ハレツカニ

申ノ刻ハ甚ク夜半ニレツカナリ

心病ハ日中ニハコロヨク夜半ニハ甚ク平

且ニハ静ナルベシ

脾病ハ戌ノ刻ニコロヨク日出ニ甚ク申

ノ刻ニ静ナルベシ

ノ刻ニツカ也

肺病ハ申酉ノ刻酉ノ刻ハ日中ニ甚レ

名夜半ニツカ也

腎病ハ夜半ニ快ヨク丑未辰戌ノ刻ニ甚

ク申ノ刻ニ静也

右是相剋相生ノミワリナリ

又云肝病ハ丙丁ニイユ丙丁ニイサレバ

庚辛ニツヨレ庚辛ニ死セサレバ壬癸

ヲタモツテ甲乙ニツクベシ

心病ハ戊己ニイユ戊己ニイサレバ壬癸

ニツヨレ壬癸ニ死セサレバ甲乙ヲタモツ

テ丙丁ニツクベシ

脾病ハ庚辛ニイユ庚辛ニイサレバ甲

乙ニツヨレ甲乙ニ死セサレバ丙丁ヲタ

モツテ戊己ニツクベシ

肺ハ壬癸ニイユ壬癸ニイサレバ丙丁ニ

ツヨレ丙丁ニ死セサレバ戊己ヲタモツテ

庚辛ニツクベシ

腎病ハ甲乙ニイユ甲乙ニイサレバ戊己

ニツヨレ戊己ニ死セサレバ庚辛ヲタ

モツテ壬癸ニツクベシ

又云肝病ハ夏ニイユ子ノ大母ノ賊邪ノ

金ヲ制スル故也

夏愈サレバ秋ニ甚レ子ノ大父ノ賊邪ノ

金ハ旺スル故也

秋死セサレバ冬ヲタモツ賊邪ノ金休シ

母ノ水旺スル故也春ニナリテタノ肝

木自ラ其位ヲ得カ故ニツクルナリ

右此肝病ニテ餘藏ノ病ヲナツラハ

テ知ベシ

諸病之惡候

凡病者足ニウ通ノ裏ニ身重ク大

便タモク眼ニヒトニヲ轉ビ身ノ

ル臭ハ皆死スヘシカフヲチハ目鼻

耳口黒々面白ク多ク又一向ニ

物イワズ口ニクハハ皆危シ

久病ニ兩ノ頰赤キハ肉

少テ息ススム足膝ハフツレ

身體ハ小便秘澀ス面テハ赤ク

眼ハ白シ面テ青ク目黄ニ

マナニヒカリナク面テ先主月クモ

後ニ黒クハギク口ク鼻ノ下

人中アトナク唇ヲシク身ニヘシ

ヒリイハリレ夜ヲテ床ヲサレ

食ヲテテテテテテテテテテテ

ノコトクウチレノスギノビ

手ノ内ニシラナク手足ノ爪青ク

黒ク世ホ子ヒイラギ腰ノハニ

面テ黒ク目白シ唇コガレハレテ

青ク白シ

右此病證多クハ必ス死ベシ

醫者病家ニ出入スル法

醫工與患者之事上

凡醫者未タ病家ニイタズ先ロラス

キ手ヲ洗ヒ天ニアライテ祝スヘシ

ノ中ヲイテリ立ヘカラス坐スル時

ヘニヨリカラス臥トキ帶ヲトクベカラス

衣裳ヲ口ノ上ニテシオウカラス

事ノ念ヲオコスベカラス貪欲心ヲ生

スヘカラス子ム心ニタム心ヲ生スヘカ

不飲食アツハク我ガイキニテ吹テ
其後用_レ合

古語ニ云醫ハ不入於刑官ノ家藥
不療於不仁ノ病トアリ然ハ刑戮ヲ
專ニシ慈悲イナキ者ニ天道三リ大
病ヲツカラキタル故ニ醫者モ出入ス
ベカラス藥モ又因果ヲモツテ生_レ病
ズ治_レ得サルナリ

四知之論

神聖工巧望聞問切是ヲ醫經ニ四

知トイフ

夫肝心脾肺腎ノ五藏ウチニヤム時

ハ即青黃赤白黒ノ五色面ニ

アラワル面ノ色ノ青ハ腹中ノ痛ミナ

リ面色紅ナルハ腹中ノ熱也面ノ

色黃ナルハ脾ノ藏ノ氣ヨリキナリ面

ノ色白ハ腹中ノ寒也面色黒ハ腎

氣ヲガルナリ神氣ノ不足ナルハ

酒ヲノメス酔ルガゴトク心ニ怒ヘズ

ウレウレカ如シ手ノ節アレ指メ間

スキタル者ハ病ヲ得テ遷々愈_レ也

凡カクゴトクニル所ヲモツテ内腹ノ病

ヲ知_レフ也

夫五藏ウチニテ五聲ヲ生ス歌哭

吟笑呻是ナリ五音ハ五聲ヨリイ

ツ宮商角徵羽是ナリ然_レハ病者

ノモツテ其腹中ノ病ヲ示_ス也

ハ哭スルハ肺ノ病ト云々ハナク

鼻ニル者ハ肺ニ風アルトシテワラツテ

ヨタレ多_クハ脾ノ病ト云々怒リヨハツテ

淚ノ多ハ肝ノ病ナリ。多ク吐シ吐キニ
ヨフハ腎ノ虚損ナリ。汗出テ多クト
ツクハ心ノ病ナリ。聲ノカロキワニ氣ノ
ヨワキナリ。聲ノシモク濁ルハ風氣ノ
痛ミナリ。向ニ聲ノタヌハ肺ノ病
也。聲ノ急ナルハ神ノ衰ル也。聲ノ
塞ルハ痰ノレワサナリ。聲ノフルフスヒ
ニ也。聲ノムセブハ氣ノ不順也。ヤエ
クハ氣ノイソガハレキナリ。アクニ多
ハ其人倦ルナリ
右カクノコトクノ病者ノ聲ヲ以テ藏
府ノ病ヲレル。故ニ是ヲ聞トイハ聖
トイフナリ。

天五味ハロニイリ習ニラサケルトイヘハ

是ヲ五藏六府ニ散スル也。五藏モ亦
ソノ味ニヨツテ是ヲウクルナリ。肝ハス
キヲコノム。心ハニガキヲコノム。脾ハアデキ
ヲコノム。肺ハ辛ヲコノム。腎ハ鹹ヲ好ム
右如此病者ノキライコノム味ヲトイ
ワキマヘテ。五藏ノ病ノ發リ所ヲ知
ヘ。又病者常ニヨシテ。何物ヲ食
レ。イツレノ事ヲナレ。イツレノ日病ヲ
ウチ。イカヤウニヤミハジメタルトラワ
レクニイマ守テ。病ノミナモトヲ。知シ
問トイハ。エトイフ
以上三術ヲツクニ其後脉ヲウカ
イ。虛實ヲワキマエ。二十四道ヲ分別
シ。陰陽寒熱ヲアキラメ。生死吉凶
凶ヲササスルヲ。診候ノ術トイフ也

右脉^カカウコトハ神氣^{シキ}ヲレツメ。
呼吸^{カク}ヲ定メ酒ニヨワスレテ取ヘキナ
リ。脉ヲタレカニシテ藏府^{サウブツ}ノ病ヲワ
キエ。生死^{シシ}ヲレカ故ニ是ヲ切ト
イヒ。巧^{カウ}トイフナリ

五藏ノ絶證

肝^カ絶^{ダツ}ハシモテハレ青^{アヲ}ク黒^{クロ}ク舌^{シツ}マカリ
アヲシ。手足^テノ力弱^{リキヨク}ク目^メレイテ。淚^{ナミダ}

多^{オホク}シ

心^{シン}絶^{ダツ}レテハ面ツハレミ黒^{クロ}ク肩息^{カタクイキ}シ。目

見^ミガリ手^テノ内^{ウチ}ノレヲ失^{ウシ}タワコトツ身^ミ

熱^{アツク}レテモエユ

脾^ヒ絶^{ダツ}レテハ臍^シハレ足^{アシ}ノ甲^{カウ}ハレ面黄^{オウワウ}ニハ

レ大便^{ダイベン}ノクタルヲ。レフス。膚^{ハダ}皴^{シヅ}リ唇^{シヅ}

肺^{フイ}絶^{ダツ}レテハ口鼻^{コビ}ヨリイキイテテ。必ス

唇^{シヅ}ツリ。レワナク皮^ヒモゴガレ爪^{ツメ}カルナリ

腎^{ジン}絶^{ダツ}レテハ面黒^{オウクロ}ク齒^ハイタミ。耳^{ミミ}レ井

汗^{アソ}出^デル事^{コト}。水^{ミヅ}ノゴトク腰^{コシ}ヲモク。肉^{ニク}

ヤワラカニ。髮^{カミ}カルナリ

右久病^{ミナキナシ}ニ此證^{コノシロシ}アラワレバ必ス死^シスヘシ

五實五虛ノ論

脉^{ミヤ}ノ盛^{セキ}ナルハ心^{シン}ノ實^{ジツ}。皮^ヒノ熱^{アツク}スルハ肺^{フイ}ノ

實^{ジツ}。腹^{ハラ}フクレガタキハ脾^ヒノ實^{ジツ}。二便^{ニベン}通^{ツウ}セ

サルハ取^{トル}リノ實^{ジツ}。自^{ミヅカ}クタクモエルハ肝^カノ實^{ジツ}。

右五藏^{ミナモト}ノ實^{ジツ}ニキワムルナリ。モレ藥^{ヤク}ニテ

二便^{ニベン}通^{ツウ}シ腹^{ハラ}ヤワラカルハ。生^{イク}ルコト

モアリ

脉^{ミヤ}ノホソキハ心^{シン}ノ虚^{キョ}。皮^ヒノヒユルハ肺^{フイ}ノ虚^{キョ}。

鼻^{ハナ}口^{クチ}ノ乾^{カラシ}キハ肝^カノ虚^{キョ}。二便^{ニベン}タモ

タス。ク。腎ノ虚ニ飲食。一向ニサ
ラサルハ。脾ノ虚ナリ

右五藏ノ虚シキワ。ル。リ。モ。レ。藥。ニ。テ
少シ。食。事。モ。ラ。サ。マ。リ。二。便。モ。ヤ。ウ。ヤ。ク

ト。マ。ラ。バ。生。シ

諸病ヲ治スルニ。專。胃。ノ。氣。ヲ

コ。ロ。ム。ベ。キ。ノ。説

夫。藥。ニ。テ。病。ヲ。治。ス。ル。ニ。其。藥。タ。キ。マ。キ

ス。ク。ニ。其。病。ノ。所。ニ。ユ。ク。ニ。ト。ナ。レ。先。胃。ニ。ハ

テ。變。化。メ。漸。ク。病。ノ。所。ニ。ユ。ク。ニ。變。化。ヘ。ハ

病。ヲ。ミ。ワ。ケ。脉。ヲ。ト。リ。ア。テ。必。効。ノ。藥

ヲ。ノ。ム。ス。ル。効。ナ。キ。ハ。胃。氣。虚。メ。藥

カ。ヲ。運。化。セ。ズ。イ。タ。ツ。ラ。ニ。二。便。ト。ナ。リ

ノ。タ。ル。ナ。リ。其。時。ハ。本。病。ノ。藥。ヲ。オ

ト。モ。少。シ。食。事。ノ。心。ア。ラ。ハ。サ。テ。八。胃。ニ。チ

カ。ラ。イ。テ。キ。タル。ト。心。得。テ。本。病。ノ。藥

ヲ。用。ヘ。レ。ソ。レ。ニ。モ。胃。ヲ。助。ル。藥。ヲ。少。ツ

ツ。加。ヘ。レ

兩腎ニ補ノ分別

左腎ハ水ニ屬シ。右腎ハ火ニ屬ス。故ニ

虚スレバ。水。ス。ク。ナ。リ。テ。身。ノ。ウ。チ

乾。キ。命。門。虚。シ。テ。下。焦。ノ。陽。氣

衰。ヘ。テ。小。便。タ。モ。チ。ガ。タ。ク。精。氣。モ。シ

安。シ。然。ハ。世。ニ。房。事。ヲ。ツ。レ。ミ。食。味

ヲ。ウ。ス。ク。タ。レ。テ。ム。物。ハ。誠。ニ。マ。レ。ナ。リ

故。ニ。精。血。虧。損。シ。相。火。タ。カ。フ。リ。肝

虚。煩。癆。瘵。嗽。血。等。ノ。病。ヲ。發。ル。故

ニ。丹。溪。ハ。補。陰。ノ。説。ヲ。明。ニ。左。腎。ノ

水。ヲ。補。フ。古。方。ノ。補。藥。多。右。腎。ノ

金匱
相火ヲノキテ。但レ世人ノ病火旺
スルモノ十人ニ九人アリ。火衰ルノ病
八百人。二三人モ之レ

倉公三死ノ説

病ニ藥ヲ服スル事ヲウケサル公ツノ死
ナリ

巫ヲ信シ醫ヲ信セサル公ニ死ナリ
身ヲカコシ命ヲ薄シツレトサル公ニ

ノ死ナリ

右如此輩ハレイテ藥ヲ與ヘ療治ヲ
ナスト。雖レ効ヲ得難シ

五勞之大體

久ク物ヲミレハ血ヲ破リ。心ヲ勞ス久レ

クフセハ氣ヲヤフリ肺ヲ勞ス久レク

タテハ骨ヲヤフリ腎ヲ勞ス及レテ行

ハ筋ヲヤフリ肝ヲ勞ス。行義ニ云。心

ハ大ニ用ハカラス。大ニ用ユレ。即竭形ハ

大ニ勞スカラス。大ニ勞スレバ即斃ス

又云。一心ヲ以テ。極リナキノ事ニ對セ

ハ亦勞セザラセ

未病ヲ治スルノ説

言語ヲツレテ飲食ヲ節レ風寒ヲフ

セキ。形ヲ勞セズ心ヲツサズ。房

事ヲトラス

右是未病ヲ治スルノ大道ナリ。丹

溪カ云。ソレ病アツテ後治療セヨ

リハレカレ病トキノサキヲ攝養セニ

ハト。又肝ノ病ヲミテ。脾ニツタエニツ

知テアラカレ。脾ヲスクヤカニ是モ

殊病ヲ治スルノ道ナリ

六失ノ論

醫ヲ信セサル失シ。療治ノ過ニ失シ。醫

ヲニラサルニ失ス

已上三失者ノトナリ

病ヲ知ヤルニ失シ。藥ヲミラサルニ失シ。詳

カニラサルニ失ス

已上三失醫者ノトナリ

右六失ノ内一モ是アラハ病イヘカタル

養生ノ論

行義ニ云。養生ノ道多シト雖ドモ。約

ノ是ヲイフニ。其術ニアリ。一ニ六神ヲ

養フ。二ニ六氣ヲオト。三ニ六疾ヲフ

セク

ツレヒ情ヲワスレ。諸事ヲステ。怡

澹。虛無ニ。眞ジミ。ツタフスルヲイフ也

氣ヲ惜ムトハ。元氣ヲタモチ。精ヲモラサ

ス。眼耳鼻舌身意ヲ衆心ワスレ。識

界ヲムナレクスルヲ云フナリ

疾ヲ防グトハ。飲食ヲ節シ。溫涼ニカナヒ

四立ニ至ニ分クハ。節ニ盡邪。賊風ヲ

ツレミ。レイテ。イテ。サレテ。サムヘカラス

右各々イカニモ。タヤスヲ行イヤステレ

トモ。世ニ行フ者。マレニ。オコナイ。カタ

レト。思フ。勢。康カ云。豐。歲ニ。病。多

ク。飢。年ニ。疾。少ト。誠ナカナ。イツ

リナラズ。關。中。土。地。ノ。俗。ハ。ヨソ。多

ニ。依テ。食。味。ウ。ス。ク。眞。人。病。ス。ナ。ク。

命。長シ。江。南。嶺。表。ハ。諸。事。ニ。タ。リ。

充滿ノ山海ノ珍物ヲナラヌト云フ
事ナレ故ニ其人病多ク大死ヲナス
遊官ノカレニイタル者モ其豊ナルニ
逢テロラ次ニ疾ヲ生ス

右是ニ習テイツクニテモ慎ムベレ故ニ
古語ニ云病ハ口ヨリ入ト道林カ云食
スル時カタルヘカラス語レハ旬月其痛

又云フテ多ク言ニ笑フカラス又ハ
五藏ハ鍾ノゴトニ懸ラサル時ハ酸ヲ
發スヘカラス

又云ユク時カタルヘカラスカタルハ是ヲ
トムベレ又タリナカラユク時ハ氣ヲ失ス
又云朝トクヲキテ公專ヨキ事ヲイスベ

晨ニ空腹ニ錢ヲカスコヘカラス
多ク用レバ消レカス

又云食スル毎ニ諸肉ヲ重子用カラス
能飯ヲ食シテヤ菜ヲ少用ベレシカラ
サレバ百病ヲ生ズ

又云飽満シテ即卧バ消セズニ積聚
トナル

又云食レ畢ラズ手ニ面ト腹ヲサス
津液流通ス

又云暮ニ卧ス時常ニ習テ口ヲ閉ベレ
口ヲ開テハ氣ヲ失シ邪惡イル又
消渴ヲ煩ラモ又血色ヲ失ス

又云膝ヲカハメテソハサニ目ハ人ノ氣
カヲマヌ
又云凡子ムラハ先心ヲサシメテ其後
眼ヲサシメヨ一夜ノ中ニ五度ニカ

ハリヲセヨ

又云咳唾スヘカラス。亦ツロキヲトシテ

分ヘカラス。手足ヲモク。背イタム

又云ウエタル時ハカニミツテ小便シ飽

痛ノ時ハ立テ小便スベシ。是ヲ慎スハ

無病ナリ

又云飽満ノ髪エラフヘカス。飢テハ

湯ヲアフルナカシ

又云冬至ノ日ハ人ノ交リ。問ミ有公登

ヘヨ自ラ物イフベカス

又云。子ニ心ニ不足ナリト思フ。有ル

ベカラス。モ不足ナル心ヲコルトモ自ラ

是ヲオサヘヨ。入トタル事ヲコレバ天

道ニリ。其縁ヲオクルナリ

又云。性ニ利アル時ハコトヲ取り。性ニ害

アル時ハコレヲスツコト。性ノ道ナリ

玉機微義ニ云。六月ハ未ニ屬ス。土六ニ旺

ス。土旺スル時ハ水衰ス。又腎水ノ母ハ

肺金ナリ。腎水ノ不足ヲ肺金ニシテ

補助ス。故ニ古人ハ五六月ハ燭宿火

味ス。金水ノ二藏ハ火土ノ旺シキヲソ

又云十月ハ亥ニ屬シ。十一月ハ子ニ屬シ。陽

氣トチカクシテ。眞元ヲ養フ。來春

發生ス。キモトヲナス。此ノトキ房事

ヲツヘシ。元精ヲソコナカレハ根本ハ

カニミレテ。病カルガレク。淳ハイツラン

ノ温熱ノ病アラシ

養生ノ書ニ云。暮ニ飽食スルコトナカレ

又云。湯ヲヒ髪ヲアラウテ。風ニア

ルヘカラス

又云トモレ火ヲカヘテ婚^{イニ}事ヲオカス

ヘカラス

又云フレヲ^{カヘ}火ヲトムヘカラス

類證辨美全九集卷之二終

